

緩和ケアは、 がんと診断されたときから始まります

緩和ケアは、がんの治療ができなくなってから始めるものではありません。

- 痛みは、あなたの生きるエネルギーを奪います
- 強い倦怠感、もうなにもできないという無力感をまねきます
- 吐き気は、あなたを一日中不愉快な気分させます
- 気持ちの落ち込みは、あなたの力を奪います
- 希望が見えないことは、あなたを絶望の淵に追いやります

身体や心などのつらさが大きいと、体力を消耗させて、がんの治療を続けることが難しくなります。そのためがんと診断されたときから「つらさを和らげる＝緩和ケア」を始めることが大切です。

当院があなたに提供できる緩和ケアの「5つの支援」

がんとわかったら...

あなたのつらさに耳を傾けます

これからの治療を決める時...

あなたに必要な情報を提供し
あなたとともに治療を考えます

つらさや痛みが続く時...

専門のスタッフが相談させて
いただきます

治療や療養の場は...

ご希望に沿うように
相談させていただきます



つらさや痛みが強い時...

身体や心など様々な
つらさをやわらげます

早い段階から緩和ケアを受けた場合、生活の質（QOL）が改善され、予後にも良い影響があるという調査報告もあります。